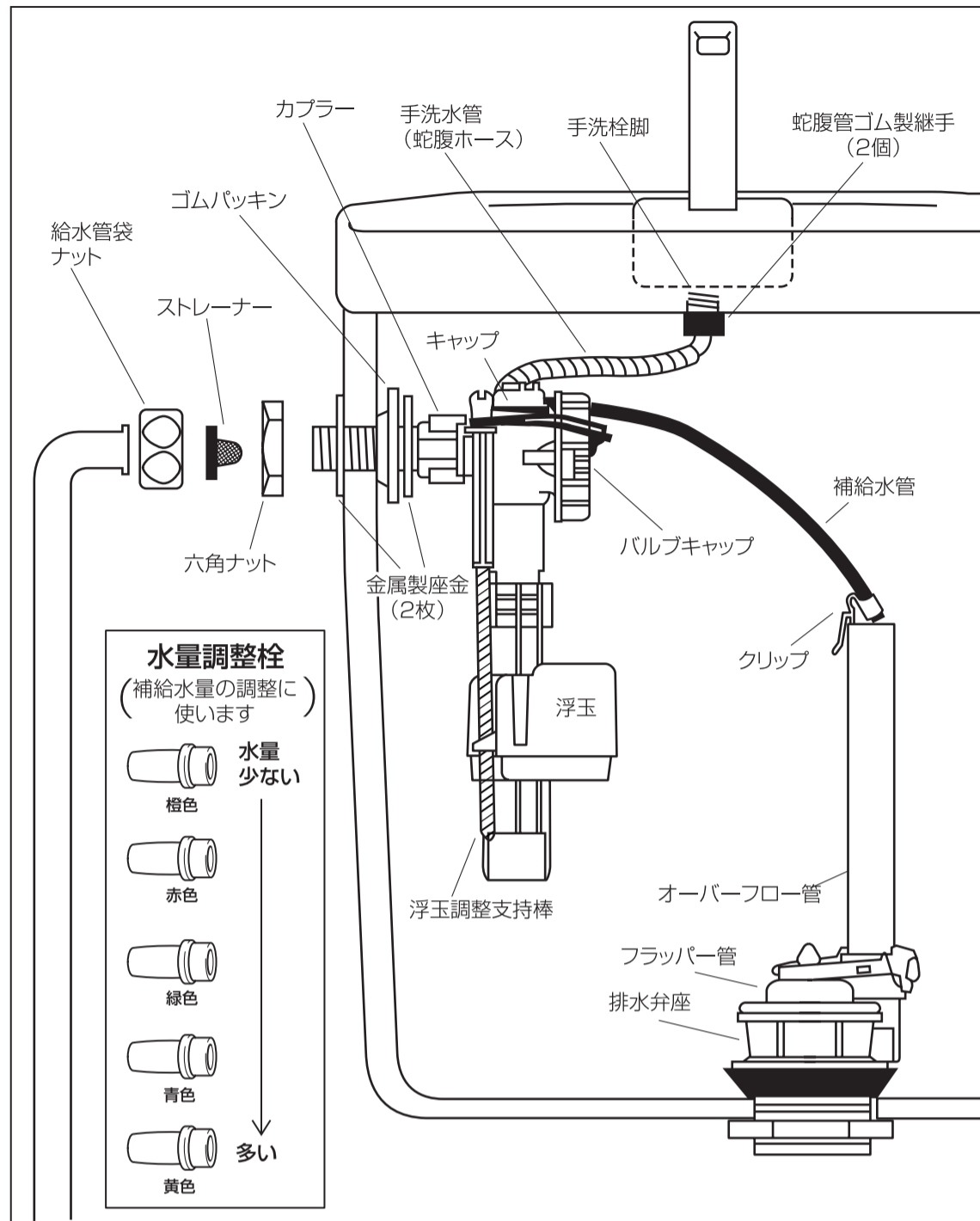


フルードマスター747UK113B 万能式取替用タンク給水弁 取付説明書

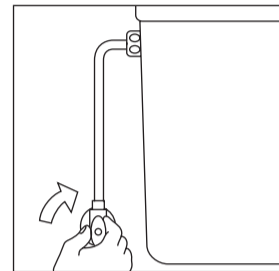
今後の参考のために、この説明書は大切に保存しておいて下さい。
フルードマスターの製品をお求めいただき有難うございます。この説明書の内容にそって正しく取り付けて下さい。そうすればフルードマスタータンク給水弁を快適にお使いいただくことができます。



警告

水洗タンクに入れる漂白剤または塩素入りトイレ洗浄剤は使用しないで下さい。使用した場合、(1)タンクの部品に損傷を与え、水があふれ出たり家屋への被害が生じたりします。(2)フルードマスターの保証が無効になります。ナットは締めすぎないで下さい。水洗タンク/便器にひびが入ることがあります。

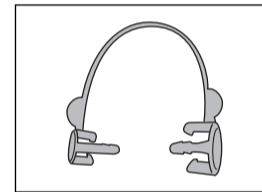
1) 古いボールタップをタンクから取り外す



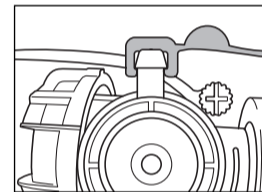
1. 水栓を閉めてからトイレを流し、タンクの中の水を排水します。タンクの蓋を外します。
2. 手洗用水栓がタンクの蓋に取り付けられている場合は、手洗蛇腹管と継手を手洗栓の脚から外します。手洗用水栓がない場合は、そのままタンクの蓋を外して下さい。
3. 補給水管をオーバーフロー管から取り外します。
4. 給水管袋ナットをボールタップから外し、ストレーナーとパッキンを取り外します。
5. 六角ナットを緩め、古いボールタップを取り外します。

2) 専用キャップ(栓)の装着

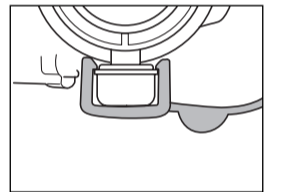
A) 手洗なし・補給水なしのタイプ B) 手洗なし・補給水付きのタイプ
C) 手洗つき・補給水なしのタイプ D) 手洗つき・補給水付きのタイプ
D)以外は専用キャップ(栓)が必要になります。詳細は(3)を参照してください。



■専用キャップ(栓)
左(小)が補給水ポート用
右(大)が手洗ポート用



■補給水ポート用の栓を装着したところ
カギがこの台形ソケットを乗り越えるまで挿入する



■手洗ポート用の栓を装着したところ
カギがこの台形ソケットを乗り越えるまで挿入する

3) タンクの仕様別のホース連結方法

A) 補給水も手洗い水も不要のタンクの場合

■専用キャップを補給水ポートと手洗ポートに挿入する。

B) 補給水があつて手洗が不要のタンクの場合

■まず専用キャップを手洗ポートに挿入する。水量調整栓を選んで補給水ポートに挿入。

■水量調整栓をつけたまま補給水管をつける。

C) 補給水が不要で手洗があるタンクの場合

■まず専用キャップ(栓)を補給水ポートに挿入する。

■手洗水管(蛇腹ホース)をつける。(奥まで差し込む)

D) 補給水も手洗い水もあるタンクの場合

■専用キャップ(栓)は取り付けない。水量調整栓を選んで補給水ポートに挿入。

■水量調整栓をつけたまま補給水管をつける。手洗水管(蛇腹ホース)をつける。(奥まで差し込む)

※補給水管つきの場合

補給水管の先端にクリップを差し込み、オーバーフロー管に取り付けて下さい。補給水管が長すぎる場合は、補助水管をバルブ本体の取出口の方を外し、長さを調整して切り、再びしっかり取り付けて下さい。

※手洗つきの場合

正しいサイズのゴム製継手(2種類用意されています)を選んで、手洗蛇腹管の先端にある輪の中までしっかり差し込み、タンクの下側にある手洗栓の脚に接続します。

4)

給水管には新しい袋ナットを使用して下さい。ストレーナーを給水管袋ナットの内側にはめます。

5)

バルブ本体の脚のねじ部に給水管袋ナットを手でしっかり締めつけた後、さらにスパナで袋ナットを1/4回転締めつけます。(締めすぎないように注意して下さい) 給水管袋ナットを締める時にバルブ本体の脚のねじ部と一緒に回る場合は、ねじ部の平たい面をレンチで固定して袋ナットを締めて下さい。

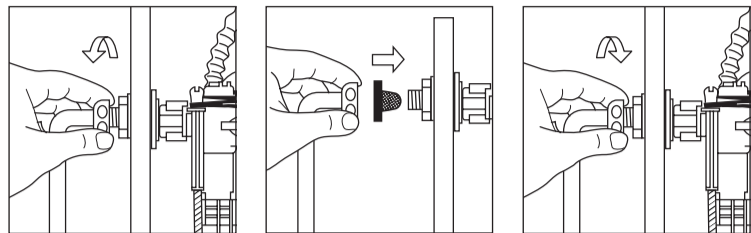
6)

止水栓を開け、タンクに水を溜めます。水位の調整は、浮玉調整支持棒を右に回せば水位が上がり、左に回せば水位が下がります。水位が"WL"マークになるように調整して下さい。トイレの水を流してタンク内部の金具がすべて正常に作動していることを確認して下さい。

トラブル対策

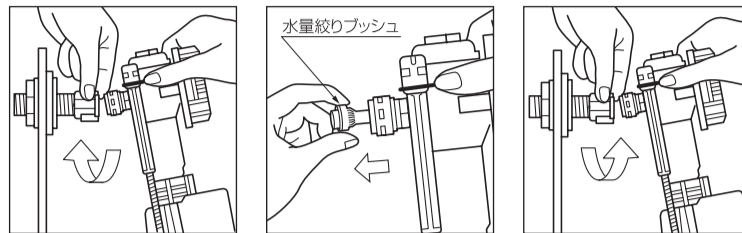
水圧が低すぎたり、タンクの水を溜めるのに時間がかかりすぎたりする場合

止水栓を全開にしてもタンクに水を溜めるのに3分以上かかる場合は、以下のようにストレーナーを掃除して下さい。



- 1.タンクへの止水栓を閉め、給水袋ナットをバルブのねじ部から外します。
- 2.給水袋ナットの中からストレーナーを取り出し、流水ですすいで掃除します。
- 3.ストレーナーを元通りに取り付け、4)、5)に従って給水管に再度接続して下さい。

それでもまだタンクに水を溜めるのに3分以上かかる場合は、以下のように水量絞りブッシュを取り出して下さい。

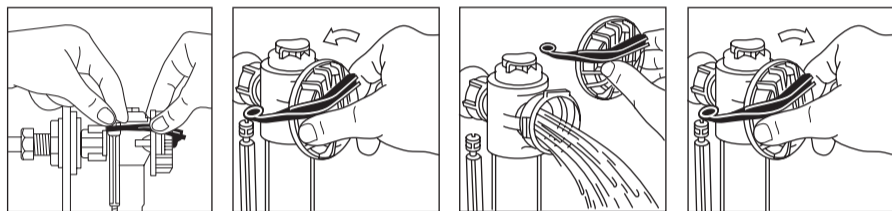


注意：器具の取り付けは必ず給水管の中のゴミを除去してからして下さい。

- 1.止水栓を閉め、カプラーを右回りに1/8回転してバルブ本体を脚部から離して下さい。
- 2.バルブ本体の中にある水量絞りブッシュを取り出します。
- 3.再びバルブ本体を脚部にあて、カプラーを左回りにカチッと音がするまで1/8回転させ取り付けます。止水栓を開きます。

バルブの水が止まらない場合

水位が上がり、オーバーフロー管の中に水が漏れている場合は、異物がバルブシールに挟まって完全な止水ができていないことが考えられます。異物の掃除は以下のように行います。



- 1.止水栓を閉め、バルブキャップ部を左回りに1/8回転させてから手前に引き取り外します。
- 2.開口部に手を当て、止水栓の開閉を2～3回繰り返して中の異物を洗い出します。
- 3.止水栓を閉め、バルブキャップ部の凹凸を噛み合わせ、右回りに止まるまで1/8回転させ取り付けます。

トイレを使用していないのに給水弁が水を出したり止めたり繰り返す場合

排水弁のフラッパー弁が傷んでいたり、汚れていたり、排水弁座にきちんとはまっていないことが考えられます。

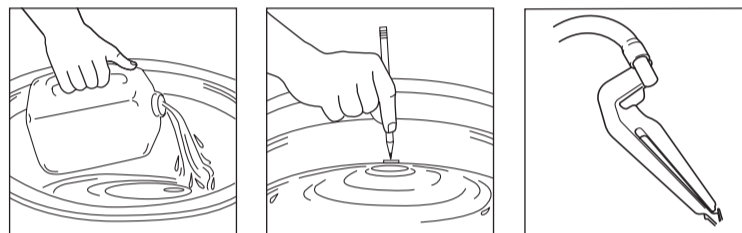
タンクの水位がタンク内側の“WL”マークまで満たされていない場合は、

6)に従って水位を調整して下さい。

補給水の調整

トイレを流して便器内の補給水の量を点検して下さい。便器の中にいっぱい水が溜まった後でもさらに水が入り込んでくるようでしたら、補給水が出すぎて便器のトラップから流れ出ています。

以下のように補給水を調整して下さい。

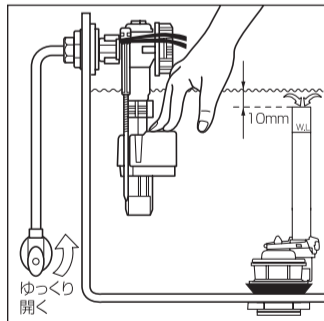


- 1.便器の中に約4ℓの水を入れ、便器のトラップから余分な水が出てしまうまで2～3分待ちます。
- 2.便器の中に鉛筆で水位の印を付けた後トイレを流します。
- 3.a.便器の中の水位の印まで水が溜っても給水弁からまだ水が出ている場合は、補給水が出すぎており調整の必要があります。水量調整栓を細い径に変えて下さい。再度トイレを流し、便器のトラップに余分な水が出ないように調整して下さい。
b.給水弁からの水が止まっても便器の中の水位の印まで水が溜まらない場合は、補給水が不足しています。水量調整栓を太い径に変えて下さい。便器内の水位の印まで水が来るまで繰り返し調整して下さい。

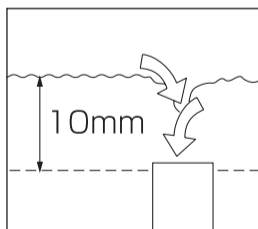
どうしてもご自分で修理ができない場合は、
お近くの水道工事店にご相談下さい。

タンクから水があふれないようにするには、

タンクに入る水の量が多すぎ、オーバーフロー管の排水容量を超えてタンクの外に水があふれ出ることがあります。給水量が多すぎたり、給水弁の故障によるタンクからの水があふれを防ぐには、以下のようにタンクの給水量を調整して下さい。



止水栓を止めてトイレを流します。次に浮玉を押し下げたまま止水栓を開きます。そのままの状態の水を溜めてゆき、オーバーフロー管への水があふれさせます。



この時の水位がオーバーフロー管の上端から10mm以上上昇しないように止水栓の供給水量を調整して下さい。(もしトイレの横に止水栓がない場合は、本管の元栓で水量を調整して下さい)

便器のオーバーフローを防ぐには、

便器が詰まって水が床にあふれそうな場合は、以下のように水を止めて下さい。

- 1.浮玉を手で引き上げてタンクへの給水を止めながら止水栓を閉めます。または、
- 2.フラッパー弁を排水弁座に押し付けたまま止水栓を閉めます。トイレの横に止水栓がない場合は本管の元栓を締めて下さい。